

樂美術館事業報告要旨

令和 6 年度 期間：2024年4月1日～2025年3月31日

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して (詳細は別紙の通り)

(1) 展覧会活動

- 1) 新春展 うたと樂焼
- 2) 樂歴代特別展 #樂茶碗 #炎の芸術 #茶の湯
- 3) 樂歴代特別展 樂之器 萬華乃彩
- 4) 新春展 様相の美 文様の美

(2) 手にふれる美術館活動

特別鑑賞茶会

手にふれる樂茶碗鑑賞会 ※中止中。

親子で見る展覧会 解説とワークショップ ※中止中。

(3) 他機関との協力活動

- 1) 他の美術館・博物館との協力事業
- 2) その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1) 館蔵作品の保管修理を行う。

3. 作品・資料収集に関して

- 1) 作品購入を行い、収蔵作品・資料の充実をはかる。予定作品は現在未定。

II 研究・資料図書公開事業

- 1) インターネット上での樂焼の解説、歴史概説の掲載閲覧を充実させる。
- 2) SNSを利用して、1)の利用拡大に努める。

III 学校・社会教育事業

(1) 小・中・高等学校への協力活動

- 1) 「親子でお茶一服」を開催した。 ※中止中
- 2) 研修授業・修学旅行学習等への協力をした。

(2) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力活動

(3) 地域社会への文化事業協力、社会教育活動

IV 入館者数状況

I 美術館活動事業 1. 作品・資料公開活用に関して (1) 展覧会活動

館展示事業

展示事業 1 新春展 うたと樂焼

2024年4月1日（月）～ 4月21日（日）

※実際の会期は、2024年1月6日（土）～ 4月21日（日）

茶の湯では和歌や漢詩の詞から引用し体現することが多く、茶道具の魅力をより一層引き立てるため、銘の多くが和歌の季の詞や漢詩の一文からとられております。

藤原定家の「見渡せば花も紅葉もなかりけり浦のとまやの秋の夕暮」/藤原家隆の「花をのみ待つらん人に山里の雪間の草の春を見せばや」この二首は、侘び茶の心髄を表現したといわれている歌です。樂歴代作品もまた和歌や漢詩から引用された銘により、樂焼ならではの土のあたたかみ、釉薬による柔らかさ、そして器形の静かな趣に、より一層の余情を催します。本展覧会では、和歌や漢詩に詠み込まれた季の詞にちなんだ銘や文様のある茶道具を取り合わせました。和歌と茶の湯に共通する風雅な世界に誘います。

展示事業 2 樂歴代特別展 #樂茶碗 #炎の芸術 #茶の湯

2024年4月26日（金）～9月1日（日）

利休居士の考える「侘び茶」のために新たに生み出された、「茶を飲むために生まれたヤキモノ」を三つのキーワードから、茶碗に命を吹き込む窯の炎の映像や、初代長次郎から当代十六代吉左衛門まで歴代選りすぐりの茶碗を展示し、日本文化の一端を茶碗を通して紐解きます。

展示事業 3 樂歴代特別展 樂之器 萬華乃彩

2024年9月7日（土）～12月24日（火）

懷石料理に華を添える器。季節によって様々な形やデザインがあります。「ちゃわんや」が造る樂焼の器には、あたたかみがあり、どこかプリミティブさがあるため、器から感じられるやさしさが料理との調和を奏でています。向付、皿を中心に展示し、器のあり方に一石を投じる展覧会。

展示事業 4 新春展 様相の美 文様の美

2025年1月7日（火）～3月31日（月）

※実際の会期は、2025年1月7日（火）～4月20日（日）

樂家の樂焼茶碗は、装飾を削ぎ落とされた静かなイメージがありますが、意外にも古くから文様を施し意匠を凝らしたものが多く残っております。作品に施される模様や絵にはいろいろな意味がこめられています。今回は、樂焼では珍しく、文様に焦点をあて展示致します。樂焼の器形の美しさ、釉薬の窯変による美しさだけでなく、文様に隠された意図や思いを紹介する。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。作品の解説、質疑応答を行う。

・開催期日

通常の手にふれる樂茶碗鑑賞会は中止中。

【特別開催】

・2024年12月19日 東京国立博物館ボランティア 22名

館長直入が手にふれる樂茶碗鑑賞会をし、黒窯制作ビデオ上映後、その後「樂歴代特別展 樂之器 萬華乃彩」を鑑賞する

・2025年2月26日 三越伊勢丹日航トラベル 9名

16代吉左衛門が手にふれる樂茶碗鑑賞会をし、黒窯制作ビデオ上映後、その後「新春展 様相の美 文様の美」を鑑賞する

2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長樂直入による作品解説、質疑応答を行う。

特別鑑賞茶会開催	2024年4月28日	48名
水月雪花之茶会開催	2024年7月7日	60名
	2025年3月9日	70名
特別茶会 萬華之器 彩乃菓子	2024年9月23日	60名
	2024年10月27日	60名
	2024年12月1日	76名

【特別開催】

なし

3. 親子でお茶一服

中止中

4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

中止中

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (3) 他機関との協力活動

1. 他の美術館・博物館への出品・講演など協力活動

- 1) 今出川通 日本画・茶の湯美術館連絡会（堂本印象美術館、茶道資料館、北村美術館、橋本関雪記念館、当館）と密接に協力活動を行う。
- 2) 佐川美術館の展示、美術館活動に協力する。
「樂直入展 一茶陶の美一」
2024年3月30日（土）～9月23日（月）

「樂直入展 一創造の美一」
2024年10月5日（土）～2025年2月24日（月） ※10月5日～11月1日まで臨時休館

「樂直入展 一伝統と挑戦一」
2025年3月8日（土）～2025年9月28日（日）
- 3) 一般社団法人 表千家同門会
「第84回全国大会福島大会」特別展示に協力
2024年10月1日（火）～10月31日（木）
町野長門守伝符状 計1点

2. その他の機関・団体との協力活動

・コラボレーションイベント

「京料理 老舗之樂」 老舗料亭 京料理の粋と直入の話

以下の三老舗に共催戴き、「京料理 老舗之樂」と題し、樂焼の向付や皿など自慢の逸品をお出ししていただき、館長・樂直入が語りながら京料理と樂焼の魅力を紹介した。

京大和様	2024年 9月22日（日）	参加人数	20名
京都吉兆 嵐山本店様	2024年10月26日（土）	参加人数	19名
京都南禅寺畔 瓢亭様	2024年11月30日（土）	参加人数	18名

・上京消防署より「自主防火事業所」として弊館が表彰された。

令和6年度中に防火防災活動に尽力し、顕著な功績のあった個人又は団体等に贈られるもの。